重点単元の実践報告〜小学校〜
総合・文化祭
国語・表現
生活とつなげて
学習と学習
学習と生活
つながりを見いだ
教科横断的な視点
国語として表現力をつける学習の素材として、総合と結びつけることができた。
合科的な教材を考えるようになった。
「個人テーマ」にして
発展的な学習
必要感がある
情報交換
連携したいけど…
時間の確保
・相談
・準備
「6段階の資質・能力」を、児童・生徒に意識させる手立てを考える。
6段階の資質・能力を子どもたちにも
4月のはじめに教・子で共有
学級目標も共有した上で価値づけて求める。
失敗してもいいから
学級目標
＝
6段階の資質能力
子どもたちにも！
・個人でつくると共有△
バラバラ
・教科で、全て同じ
汎用的な力
ルーブリック表
資質能力いちらん
「田んぼの学校」としてのゴールの姿とゴールの活動を子どもと共有してから、スタートしていく。
中心にすえる活動等も「田んぼの学校」と総合に広げたらやりやすくなるかも
田んぼでつなぐ？
資質・能力でつなぐ？
学習の基礎になる 汎用的な能力でつなぐ？
総合に生かせる「教科で培う力」を考えるようになった。
担任としてのカリマネ
小中9年間を見通す
カリ・マネの土台となるものを考えることができた。
足あとカリキュラム
来年度へつなぐ
前もってつけたかった力を
赤で加えてR2へ
1年の見通し
カリマネをつくったからこそ
わかった。もっと考えるべき。

重点単元の実践報告〜中学校〜
6段階の資質・能力のとらえどうするか？
疑問・不安
学びの成果の生かし方？
各教科での学びの評価、つけたい力の評価の方法
生徒たちが学習の成果を発表する場を設けてはどうだろうか。
気軽な発表会や作品展示
ゴールの場の設定
「田んぼの学校」でつけさせたい力は何だったのだろうか。子どもの思いづくりが必要
対話的活動活発化
日常生活
互いの授業のようすを見に行く。意見交換・情報交換、共有するといい方法は？
小→中
学びのつながり
小学生が記録（観察）していたデータが大変役に立った。
教科横断
成果
課題
来年度挑戦したいこと
中心に据える活動を「総合」に限らず、幅を広げる選択の
単元構成
1時間の中で考えがまとまらない生徒がいた。もっと長いスパンで考えて関連づけられるようしくみたかった。
広がりすぎて、まとめるのが大変…
そのためには
学びの場のつながりを実感させることができた
生徒が発表でまとめることができた。
稲・米の流通を、食物連鎖、政治経済事項と関連させて考え発表することができた。
「田んぼの学校」にみんなが共通して体験していて、だから互いに学びを深められた
3.3見
英語科として
グローバルな視点の育成